

# 2026年度事業計画

第30期(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

## 1. 主要会議及び活動項目

### 1) 全体会議

上期理事会、定時総会を2026年5月29日(金)に、  
下期理事会、活動報告会を10月23日(金)に実施する。  
臨時理事会、正副会長会を随時実施して適宜、健全な協会運営を図る。

## 2. 重点項目

- 2) 交通安全啓発に関して、春、及び秋の交通安全運動期間中に合わせて会員各店、及び関東近郊のNEXCO高速サービスエリアほかにて啓発活動実施する。タイヤ不具合の発見方法(タイヤ空気圧点検、タイヤ残溝・偏摩耗点検促進)とバッテリー点検の必要性を啓発してドライバーの認知度向上と会員店舗への誘致活動を図る。また日本自動車会議所主催交通安全イベント「アクション2026」出展と協力により広く一般に向けてクルマの安全安心を訴求する。日本自動車タイヤ協会とのタイアップにより冬タイヤ早期履き替え促進を実施する。
- 3) 委員会活動による会員社、及びマーケットへの有意義な情報提供と提案実施を目指して、洗車の日、オートパーツの日、コンプライアンス、海外視察委員会の定例開催、人材確保・定着委員会活動を実施していく。  
「洗車の日活動」では毎月28日を「ツヤの日」と制定して製販垣根を超えた各種拡販活動を検討していく。「東京オートサロン2027」「大阪オートメッセ2027」、「愛知オートメッセ2026」での大型イベント運営をより委員会に委譲して、お客様目線での販売促進計画を積み上げていく。また昨年以上のユーザー向け洗車訴求告知、広告を雑誌、新聞等媒体に出稿して認知アップを図る。整備钣金業団体、中古車、部品販売企業との連携をスピード感を持って取り組む。
- 4) 「オートパーツの日活動」では、外的要素であるクルマをカスタマイズして、より個性を打ち出し楽しむ工夫と、内的要素である便利、安心、快適にカスタマイズして、よりドライブを楽しむ工夫を定義して提案していく。それにより、今まで以上に他団体官公庁との連携、協業を模索して自動車関連団体としてのヨコ繋がりを持たせて情報収集に努める。
- 5) 「コンプライアンス」では不正改造車を排除する運動強化月間(6月～)に合わせて、独立行政法人自動車技術総合機構との協働による店舗調査を6月から12月の期間に全国量販店舗で行い、その調査結果について実施報告、是正意見交換会を実施する。また自動車点検整備推進運動に協力参加して一般ドライバーに向けての啓発を行う。また、労務費転嫁、介護支援、人権、防災、サーキュラーエコノミーのキーワードに関して他業界の情報も収集しながら、会員企業に向けて情報発信を行う。
- 6) 「人材確保育成」では自動車アフターマーケット分野で人材不足を解決するため、採用・定着・育成の三本柱を軸に具体的な課題と対策を事例を持って検証していく。採用チャネルの多様化とPR強化策の検討や、若年層や女性、主婦・主夫層、外国人など多様な人材をターゲットにした採用ルート開拓の方法、体験イベントや業界の魅力発信、職場見学の機会を増やすなど、業界イメージの向上と求職者増加を目指すPR活動の強化策を他業界事例も積極的に参考にして立案する。

7) オートアフターマーケット異業種との幅広い情報交換による次世代及び新エネルギーへの対応力向上のための情報を広く集めて会員に発信していく。また関係官公庁と協力して、業界団体で無ければ成し得ない会員企業向け勉強会、研修会を広く開催していく。クルマ先進技術への情報対応とコンプライアンス情報取得のため、関係官公庁との連携繋がりとお人脈を太くして対応に当たる。